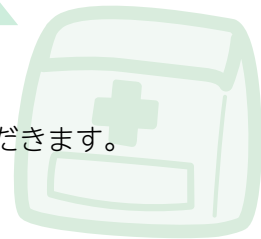


こんにちは！名寄市地域包括支援センターです！



今回は、名寄市立総合病院 薬剤師 ^{かくあ}角尾雄輝^{ゆうき}さんから、心不全と薬についてお話いただきます。

心不全治療に大切な薬とその服薬管理について紹介します。

【薬の働き】

利尿剤

体にたまった余分な水分を出します。トイレが近くなりますが大切な薬です。

降圧剤

血圧を下げ心臓などの臓器や血管の負担を減らします。

心保護剤

心臓を保護し長期的に再入院を抑制します。

その他

心不全治療にとっても有効な薬が次々と開発されて治療に使われるようになりました。

【薬をしっかり飲む】

心不全の治療は、自分で飲む・飲まないを判断することや飲み忘れなどをせずに、医師の指示通り継続して薬を飲むことが最も大切なことです。



心不全を悪化させるきっかけ

1位	塩分のとりすぎ
2位	感染症
3位	薬の飲み忘れ
4位	過労
5位	不整脈

【飲み忘れたときは？】

お昼までに気が付いた場合はすぐに飲みましょう。朝と昼で一部同じ薬がある、夕方に気が付いたなど判断に困ったときは、必ずかかりつけ薬剤師に相談してください。



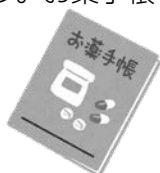
【管理が難しい】

お薬カレンダー、ピルケースなどを活用しましょう。錠剤を押し出すタイプの包装や個包装となっている場合は、飲む時間ごとに1つの袋にまとめる『一包化』という方法もあります。薬剤師がご自宅に訪問し、薬のセットなど管理のお手伝いや体調の確認を行うこともできますので、詳しくはかかりつけ薬剤師にご相談ください。



【かかりつけ薬剤師】

複数の医療機関や診療科を受診し薬を処方されている方は、複数の薬局からお薬をもらっていませんか？
 かかりつけ薬局を決めて、自分を一番理解してくれるかかりつけ薬剤師もつくりましょう。お薬手帳も複数お持ちの方もみられますが、必ず1つにまとめましょう。



◆問い合わせ
 地域包括支援センター-地域包括支援係（名寄庁舎2階）
 ☎ 01654③2111（内線3260）